



危機の克服と将来の発展に向けて

愛知県知事 神田 真秋

米国の金融問題に端を発した経済危機は予想を遙かに超える大ききで世界中に広がっています。輸出型産業を中心とする本県経済にも世界不況の大津波が押し寄せ、法人二税収入は前年度予算額の約三分の一になるという過去に経験したことがない急激かつ大幅な減収に見舞われました。

しかし、県政史上未曾有の財政危機を乗り切り、地域の自立と活力を取り戻すことが私どもに課せられた使命と考えております。

そこで、二十一年度当初予算では、県民の皆様の暮らしにおける安心・安全の確保など喫緊の課題に迅速に対応するための「足元を固める緊急対応」、さらには、これから先五年から十年をしっかりと展望する「中長期を展望した地域づくり」の二つを重点課題とし、予算を編成いたしました。

県民の皆様の安心・安全の確保

まずは雇用対策についてです。職業訓練の大幅拡充や緊急雇用創出事業基金、ふるさと雇用再生特別基金を活用して雇用の創出を図るとともに、求職者総合支援センターを開設し、住宅情報や職業訓練の案内、職業紹介を実施するなど離職者の方々の再就職と生活の安定を図ることいたしました。また、厳しい経営環境にある中小企業対策として、経済対応適応資金の融資目標を大幅に拡大いたしました。

福祉医療制度については、子どもや障害者、母子・父子家庭、高齢者の方などに安心して医療を受けていただくため、財政状

況が厳しい中ではありますが、現行制度を維持、継続することいたしました。

また、地域の医療体制を確保するため、夜間・休日の救急勤務医や産科医の手当に對する助成を行うとともに、医師が不足している病院への医師派遣が円滑に行われるよう支援も行ってまいります。

全国ワースト一位の交通事故死亡者数の減少を図るため、ソフト・ハード両面から交通事故を防止する施策を推進してまいります。

さらに、安全なまちづくりの推進のため、警察官を五十人増員するとともに、子ども・女性・高齢者への防犯対策や多発する犯罪への対応を充実することいたしました。

山間地域の振興も重要課題です。高齢者や高校生などの交通弱者が安心して暮らせるよう新しい交通体系の構築を支援するとともに、情報格差を是正する施設整備に助成を行うこといたしました。また、今年度から導入する「あいち森と緑づくり税」を活用した森林整備や農林水産業の振興などにも取り組んでまいります。

中長期を展望した地域づくり
愛知の活力を取り戻し、さらなる地域の発展を目指すためには、次世代産業の育成や社会資本整備などが重要となります。

このため、次世代産業として期待が大きい航空宇宙産業については、県営名古屋空港の隣接地に航空機に関する研究施設を整備し、産学官が連携して航空産業を支援できる体制を整えるとともに、関連企業の投

資・立地を支援してまいります。さらに、中部国際空港については、二本目滑走路の実現に向け、国際航空物流に関する調査・検討や需要拡大への取組みを積極的に推進してまいります。

また、心豊かで、向上心に富み、たくましく意欲あふれる人づくりとして、小学校一、二年生に続いて、二十一年度からは中学校一年生にも三十五人学級を導入することとしていきます。これにより、中学校進学の「中一ギャップ」問題にも対応し、不登校の防止、学力の向上を図ることいたしました。

二〇一〇年に開催する国際的芸術祭「あいちトリエンナーレ二〇一〇」の開催準備を着実に進め、若い世代の創造性や感性を育むとともに、心の豊かさや潤いのある生活を実感できる魅力的な地域づくりのきっかけにしたいと考えております。

ほかにも、二〇一〇年以降の中長期的な発展に向けた目標づくりにも取り組み、各種ビジョン、計画の改定にも取り組んでまいります。

以上が二つの重点課題への対応ですが、県を取り巻く環境、特に財政状況は誠に厳しいものがあります。しかし、危機をチャンスにできた者こそがその後の大きな飛躍を遂げることができます。平成二十一年度は、かつてない危機を突破し、将来の発展につなげていく転機之年にしてまいりたいと考えております。